



新校舎と校庭



祝賀会しおり

「母校創立九十周年を祝う会」を終えて



同窓会会長

平田 優子

S55年卒業(旧姓若山)

校庭の木々も芽吹き、暖かな春の陽差しを受けた新校舎の窓から、さわやかな風が吹き抜ける心地よい季節となりました。同窓生の皆さまにおかれましては健康やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

皆さまご存じの通り、母校は平成二十五年「創立九十周年」の節目を迎えました。

新校舎の建築も着々と進み、紅葉の便りが届きはじめた去る十月五日、湯の川花びしホテルに於いて「函館大妻高等学校創立九十周年を祝う会」が開催されました。

記念セレモニーの中で、皆さまからお寄せいただいた寄付金と毎年コツコツと貯めて下

創立90周年記念
特集号
第37号

《発行》
函館大妻高等学校
同窓会
「いとぐるま」編集部
〒040-0002
函館市柳町14番23号
電話 (0138) 52-1890
FAX (0138) 52-1892
印刷 (有)三和印刷

さった手づくり会作品販売収益金、周年事業積立金を合わせて、「二、〇〇万円」の目録を「九十周年記念事業費」の一部として西野理事長先生にお渡しすることができました。取組み始めた時は遙か彼方の目標でしたが、この大目標を達成できたのも、建学の時から皆さまの心の中に脈々と受け継がれてきた「不撓不屈の大妻魂」を見事に発揮され、ご支援下さった賜物と深く感謝し、心より厚くお礼申し上げます。

また、同窓会を今ある形に導き、母校と同窓会のためにご尽力下さいました前同窓会長 故北原幸子様に、遅ればせながら同窓会として感謝状と記念品、お好きだった百合の花束をお贈りいたしました。当日はご主人の北原善通様にご臨席を賜り、長年の感謝の気持ちをお伝えいたしました。誰よりもこの日を樂しみにされていた北原前会長も、遠いところから喜んで見守って下さっていたのではないのでしょうか。

さて、もうひとつサプライズで池田校長先生の「北海道社会貢献賞」受賞のお祝いをさせていただきました。会場の皆さまに北海道新聞の掲

載記事をお見せしながら、記念品と花束をプレゼント。非常に驚きながらもとても喜んで下さいました。

セレモニーも無事終了し、和気あいあいと祝宴の進む中、母校吹奏楽部の記念演奏が始まると、聴き入る皆さまの目から感激の涙があふれ、演奏し終わった三年生の生徒さん達から、「もう二度と演奏できないと思っていたのにこの場で演奏できてうれしかったです。」と泣きながらお礼を言われた時には、吹奏楽部の皆さんに演奏をお願いして本当に良かったと思いました。顧問の中川先生はじめ教職員の皆さま、お力添えをいただきありがとうございます。限られた短い時間の中では思い出話も十分に語り尽くせなかったことと思います。また、不手際や至らないところも多々あり、おもてなしも十分ではありませんでしたが、「函館大妻高等学校」という縁で結ばれた一七四名が一同に会し、母校のご慶事をお祝いできましたこと上の喜びとして深く心に刻まれました。この機会を与えて下さった西野理事長先生はじめ母校教職員の皆さま、遠くから駆けつけて下さった支部の皆さま、この日を迎えるまでご支援・ご協力下さいましたすべての皆さまにこの場をお借りして、今一度、心より厚くお礼を申し上げます。末筆となりましたが、創立一〇〇周年に向かわれる母校の益々のご隆盛と同窓の皆さまのご健勝を祈念申し上げます。ごあいさつといたします。



新校舎

理事長

西野 鷹志

何処からともなくすきま風が通りぬけ、暖房ボイラーを全開しても校内は暖まらない。寒さきびしい季節、永年くり返されてきた。昨年暮れ、木の温もりと陽の光があふれる本校舎が完成して、学校生活を快適に送る生徒と先生の姿にほっとする今日このごろだ。

校舎改築の真つ盛りで学園には創立九十周年記念祝賀会をおこなう余力がないと、同窓会に主催をお願いしたところ心よく引き受けていただいた。さらに卒業生からコツコツと募って多大なご寄付も常日頃からみなさんの心意気、母校愛、自立心に敬意と誇りを感じ、同窓会は学園の宝と思っている。

当初、資金調達など難題だらけで校舎改築がスムーズに運ぶとは思ってもいなかった。だが、チーム大妻の奮闘で、創立九十周年記念事業を全うできた。感謝の一言あるのみ。

No Attack No Chance (攻めなければ、好機なし)。このころ、好きな言葉のひとつだ。十年後の百周年にむけ、攻めの姿勢で厳しい時代を乗りこえていきたい。



故 北原幸子前会長へ感謝状贈呈



「北海道社会貢献賞」受賞のお祝い



寄付金「1,000万円」の目録贈呈



校舎の案内役はお任せを!!

同窓会名譽会長

池田 延己

二〇一三年(平成二十五)十二月二十日、九時三十分、一部三階建ての新校舎が落成し、引き渡し行事が行われました。木をふんだんに使っているため至るところに香りが漂い、また、廊下や教室の窓も大きくとっているので日当たりが良く解放感にあふれている。トイレの電気は人感センサーで点灯し個室はウォッシュレット付きと、「まるでホテルみたい」という生徒の感想も聞かれました。残るは家庭科実習室、保育実習室(ピアノ)、保育演習室(造形)、書道教室、理科室などの特別教室が入る西側校舎の改修工事ですが、四月にはその全貌が完成します。案内役は私自身が引き受けますので、ぜひ見学にお出で下さい。

併せて、創立時から今日まで営々と繋がってきた校風や文化を、次世代に継承していくための精神的よりどころにしたいと考え、玄関ホールの一角に「外山ハツ記念ホール」をつくりました。大妻の歴史を展示するコーナーです。「いつでも、誰でも、自由に」大

妻の歴史に触れることができます。ハツ校長が「何を思い、何を考えこの学校を作ったのか」。時代の違いはあっても「大妻」という空間で、同じ空気を吸い勉強に励んだ仲間の「心の交流」の場になれば最高です。同窓生の皆さまにも喜んでもらえるものと思っています。

「生徒にしっかりと向き合い、分けるまで教えます、いつまでも付き合います」という精神、「心を伝える教育ができるからこそ大妻なのです」「公立高校ではできないことをやるから私立なのです」と、言い切っていたハツ校長先生を思い出しています。これからもハツ校長の志を継ぎながら、百周年に向けてしっかり前を向いて、確かな一歩を進めていく決意です。変わらぬご支援、ご鞭撻を切にお願い申し上げます。



関本トキ様より

母校創立九十周年を祝う会に出席して

〓日高支部長〓

岡田 代志子
S 48年卒業(旧姓 中井)



新春の候、例年になく寒さが続いておりますが、同窓生の皆様お変わりございません。

喜んでしょいか。昨年十月に母校の創立九十周年のお祝いの会がございました。誠にめでとうございました。私は、十年前の八十年と今回の九十周年のお祝いの会に出席する事ができました。

私が在校生の時に創立五十周年がありましたので、あの時から四十年の歳月が流れたのかと思ひますと時間の経つのは、いかに早いものかと思わずにはいられません。お祝いの会は和やかに進み、在校生の吹奏楽部の演奏があり会場は大変盛り上がりしました。北原幸子前会長のご主人もご出席されていらつしやいました。この場に北原会長がいらしたらどんなにお喜びだったのかと思ひますと熱いものが込み上げてまいりました。平田会長、役員の皆様、本当にお疲れ様でした。

母校の益々の繁栄と同窓会の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます。

〓札幌支部長〓

岩崎 典子
S 34年卒業(旧姓 金山)



平成二十五年十月五日、快晴の札幌駅を會員の皆様と、修学旅行よろしく一路

函館へと向いました。会場で大きな垂れ幕を目にしたとたん、目頭が熱くなる思いをしました。同窓会長はじめ役員の皆様のご苦勞とご努力のたまものと感謝申し上げます。

会が始まり、沢山の祝辞、祝電の中、はるか昔の学園生活のあれこれが走馬灯のように思い出されました。少子化の進む中、理事長、学校長の時代の流れを先取りした学園運営が心より嬉しく、又、頼もしさを感じ感謝しているところでございます。校訓の「恥を知れ」を胸にきざみ、同窓生の一人として、誇りに思い頑張つて参りたいと思うこのごろです。

今後、開校百周年へと続くであろう母校の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



札幌支部様より

〓東京支部長〓

杉本 幸子
S 33年卒業



好天に恵まれた平成二十五年十月五日、母校創立九十周年を祝う会に出席さ

せていただきました。理事長西野鷹志先生から百周年に向けて校舎の新築に取りかかっている事等お話しがあり、出席者一七四名の同窓生は母校の隆盛を振り返り、過ぎし昔の思い出をたぐり、それは感動に満ちたものでした。現在、四季おりおりの花を咲かせている校庭で体育祭をし、創立者外山ハツ先生の袴をはいて綱引きをしたお姿が脳裏にうかび走馬灯のように甦りました。

高校時代の多感な三年間を過ごした「懐かしい母校に対する思い」を語り合える友と恩師との再会はこの上ない喜びであります。

東京支部は来年六月「三十周年」を迎えます。創立者の心を道標として、微力ながら東京支部を役員・會員の皆さんと共に充実した会にしたいと願っております。

函館大妻高等学校九十周年のご慶事と、同窓会の発展を心よりご祈念申し上げます。



東京支部の皆さま



日高・東京両支部様より



札幌支部の皆さま

同窓会書記

本間 ち江

S 26年卒業(旧姓 大井)



この度、母校創立九十周年を祝う会に出席出来たことは、同窓生の一人として、この上ない喜びと感動でいっぱいでございます。高砂町校舎の時代から六十余年の歳月が過ぎ、今振り返りますと、長い間の学校とのつながりや沢山の同窓の皆さんとお逢いできた事は私にとつての宝物です。

又あの日、あの時の教え子の皆さんとも今は同じ同窓生のひとりとして、楽しかった事、苦しかった事、作品の完成した時の喜びの顔などなど、走馬灯のように思い出されなつかしく思います。一番思い出される事は初代校長外山ハツ先生のお言葉で「あなた達も八十才になればわかりますよ」と…今私が八十才を過ぎあの言葉の意味がわかるようになりました。又、神田マスコ先生が白衣を着用し、いつも桜の木の手取りを

していらしたお姿は忘れられません。今もきつと風になつて校庭の桜をのらんになつてゐることでしょう。母校の創立三十五周年記念式典を千代台球場で挙行されてから、創立九十周年を祝う会迄出席できた事に感謝し、母校の益々の発展を念じております。

母校創立九十周年を



きれいに撮ってね



みんな入って入って



「ハイ、チーズ」



祝いの舞



「元気だったかい」



「元気でですよ」



PTA会長 佐々木様



「こんばんはー」



「上手、上手」



素子先生といっしょに



ガッツポーズで「勝ったあ」



盛り上がってまーす!!



鍋、当たりましたー。

祝う会に出席して

吹奏楽部顧問 中川 真美

H19年卒業



元吹奏楽部顧問の矢萩様より花束と金一封贈呈

吹奏楽部迫力の演奏

この度、母校である函館大妻高等学校が創立九十周年を迎えたことは、まことに喜ばしく、教員として記念の活動に携わることができたのはとても感慨深いものがあります。私自身平成十六年に福祉科の十七期生として入学し、福祉とスポーツに明け暮れ、大学を経て本校の英語教員、そして吹奏楽部顧問として戻ってくることができました。音楽経験の浅い私が吹奏楽部を担当することになり、はじめは戸惑いと失敗の連続でした。しかし現在では部員数も増え、「九十周年を祝う会」にご招待いただき、同窓生はじめ沢山の方々の前で演奏させていただきました。九十周年は私にとって教員生活三年目ということもあり、一つの節目として吹奏楽部の三年間を振り返りたいと思います。

私が着任してからの三年間は部員の増加を目指し、コンクールへの出場、そして二十四年度より、七飯高校で何度も吹奏楽部を全道大会へ導いている小野寺先生をコーチに迎え、定期演奏会の開催やオリジナルユニフォームの作成等、新たな試みに挑戦してきました。初めて練習場所である大講堂へ向かった日、扉をあけるとそこにいた部員はたったの五人。花形楽器を吹く部員もいなければ、ただ響くのは低音楽器のみ。「あれ、テレビで見た吹奏楽部と違うぞ!」と初日から途方に暮れたのを覚えています。そんな日から早三年、今では部員数三十二名と当初の数倍に膨れ上がった吹奏楽部は毎日にながやかに練習に励んでいます。学校祭やオープンスクール等で演奏させていた、だく時には部員達が考えたパフォーマンスを織り交ぜ、演奏する側も聞く側も楽しめるステージを心掛けてきました。その一端を「九十周年を祝う会」で披露することができたと思います。温かいまなざしと大きな拍手に迎えられ、部員達は演奏することの喜びを再確認することができたようです。中には感極まって涙を流す生徒もあり、それほど一生懸命に取り組める環境と機会を与えてくださったことに感謝申し上げます。

偉大な作曲家バッハの言葉に「音楽だけが世界語であり、翻訳される必要がない」という言葉があります。英語の授業をしていると言語はもちろんのこと、文化やニュアンスの違いを伝えることにとても苦労することがあります。しかし「九十周年を祝う会」での演奏はバッハの言葉以上に世代も飛び越えて、母校の先輩と後輩がひとつになることができたと身に染みて感じることができました。

この「世界語」が今後さらに強固な絆を築いていく潤滑油として活用され、胸を張って社会へ羽ばたいていく生徒をこれからも育てていきたいと思っています。今後学園と同窓会が益々発展されることをお祈り申し上げ、結びの言葉とさせていただきます。



「おう、元気にしてたか?」



「うん、うん」



「よーし、飲むぞー!!」



ビンゴです



和気あいの教職員の皆さま



「事務局の工藤です」

平成26年度バザーのお知らせ

- ・手づくり品販売…平成26年 7 月 5 日(土)
同窓会総会当日：花びしホテルにて
 - ・食 品 販 売…平成26年 7 月20日(日)
大妻祭当日：大妻高校にて
 - ・物 品 販 売… 同 上 (大妻祭にて)
- ※今年も物品販売によるバザーを開催しますので、皆様のご協力を
よろしくお願いいたします。連絡先：阿部(0138-41-0485)

手づくり会のお知らせ

同窓会では、母校創立100周年に向けて、手づくりの小物等を作り、
同窓会総会当日に販売しています。1人でも多くの方のご参加を
お待ちしております。手づくり作品の送付も受付けております。
期 間：2月～11月までの毎月第3土曜日
場 所：母校・大妻会館 時間：午前10時～午後3時
連絡先：本間(0138-32-5498)

同窓会本部掲示板

支部総会のご案内

- 札幌支部
日 時 平成26年 5 月10日(土)
午前11時～写真撮影
総会 12時～懇親会
場 所 札幌サンプラザホテル
会費5,000円
連絡先 吉田 富子(S23年卒業)
TEL 0133-73-3208
- 東京支部
日 時 平成26年 6 月14日(土)
正午 12時～
場 所 京王プラザホテル
会費8,500円
連絡先 杉本 幸子(S33年卒業)
TEL 03-3875-0902

会報「いとぐるま」の郵送に関するお知らせ

これまでも同窓生の皆様には、多大なご協力を
いただいてまいりましたが、平成23年7月の同窓会
総会にて決議された通り、来年からは、以下の方の
みに「いとぐるま」を郵送することになりました。

- ・年会費、寄付金を送金くださった方
- ・総会・親睦会に出席くださった方
- ・同窓会にご協力くださった方
- ・新入会員で母校卒業後10年以内の方
(在校中に維持費7,200円をいただいているため)

お手もとに届かない方は、インターネット上
の「函館大妻高等学校」ホームページの中に
「同窓会」のページを開設し「いとぐるま」を
閲覧できるようにする予定ですので、そちらを
ご覧ください。

母校創立百周年にむけて、今後ともご支援ご
協力くださいますようよろしくお願い申し上
げます。

特別授業 餅つき講習会 開催!!

トピックス



みんなで気持ちを込めて
作りました

平成二十六年一月二十四日（金）、家政科三年生（家政コース）の二十八名を対象とした餅つき講習会が、同窓生の十二名の先輩方を講師として招き、新しくなった調理実習室で行われました。

この講習会は平成二十二年



福祉科の皆さん
国家試験、応援しています！

度から、伝統行事を生徒に伝えていきたいという思いで、行われているものです。杵を初めて持ったという生徒も多く、先輩方の鮮やかな手さばきとたくましい姿を、驚きと尊敬の眼差しで見つめています。

新校舎完成のお祝いの意味

を込め、紅白のお餅が完成。最後は、介護福祉士の国家試験を控えた福祉科三年生の合格を祈念し、みんなでお餅をブレゼントしに行くというサプライズも行われ、福祉科の生徒も感激している様子でした。

先輩の皆さま、本当にありがとうございました。



うまかつけるか・・・心配

新・家政科 保育検定4級 実施!!



言語表現技術検定

平成二十五年度から、家政科が新しくなり、二年次から「子ども文化コース」と「ファッション造形コース」の二つのコースが選択できることになり、一年次では、幅広い知識や技術を身につけたいという狙いで、家政科一年全員が保育検定四級を受験しました。

検定科目は「造形表現技術検定」「音楽リズム表現技術検定」「家庭看護技術検定」「言語表現技術検定」の四種類。生徒たちは、放課後に残って練習したり、先生方からアドバイスをもらったりと、初めての検定に少し緊張しながらも、真剣に取り組んでいました。

二年生からは専門的な授業が増えていきますが、今回学んだことは、これから先の人生にきつと役立つことと思います。



音楽リズム表現技術検定



造形表現技術検定



家庭看護技術検定

ご 案 内

平成26年度 同窓会総会・親睦会のご案内

日 時 平成26年 7 月 5 日 (第 1 土曜日)
 総 会 PM 5:00 親睦会 PM 6:00
 会 場 花びしホテル ☎57-0131 (函館市湯川町1-16-18)
 会 費 5,500円 但し、新入会員は3,000円
 (温泉にご入浴もできます)
 申 込 平成26年 6 月20日までに同封の(青色)振込用紙でお申込みください。宿泊申し込みは、
 同窓会副会長 金子 (TEL (0138)41-6512) まで
 ※カメラ等は、各自でご用意下さい。
 ※ 6 月25日以降の取消は会費をお返しできませんのでご了承下さい。

申し込み連絡先

◎同窓会事務局
 工藤真知子(教諭)
 〒040-0002
 函館市柳町14番23号
 電 話 (0138) 52-1890
 FAX (0138) 52-1892
 大妻高校内
 当番幹事 同窓会役員

「年会費」のお願い

年会費は「いとぐるま」の郵送や各支部助成金等に充てられます。本年度も多くの方々のご協力・ご送金をよろしくお願いいたします。

◆◆◆ 年会費集計状況 ◆◆◆
 皆様のご協力ありがとうございます

平成25年度
271,000円
 (平成25年12月31日現在)

●編集委員

阿部 幸子 金子 梨枝 森 雪恵
 平田 優子 川原 ヒサ 池田 靖子
 普 通 科 食 物 科 家 政 科 福 祉 科
 菅 川 藤 伊 生 崎 本 藤 早 綾 真 学 香 香 由 美

☆平成二十五年度卒業同窓会幹事☆

平成24年度 函館大妻高等学校同窓会収支決算書 (収入の部)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減
1 維持費	1,017,600	1,010,800	△ 6,800
2 入会金	135,000	133,000	△ 2,000
3 年会費	300,000	264,760	△ 35,240
4 福利厚生事業収益金	150,000	240,948	90,948
5 預金利息	300	256	△ 44
6 雑収入	0	11,405	11,405
7 前年度繰越金	362,574	362,574	0
合 計	1,965,474	2,023,743	58,269

(支出の部)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減
1 総会費	50,000	50,000	0
2 会議費	20,000	5,782	△ 14,218
3 事務費	15,000	10,105	△ 4,895
4 会報発刊	700,000	21,341	△ 678,659
5 活動費	50,000	42,025	△ 7,975
6 慶弔費	200,000	69,050	130,950
7 出張費	120,000	157,180	37,180
8 支部助成金	240,000	198,440	△ 41,560
9 記念品	140,000	137,200	△ 2,800
10 積立金	300,000	500,000	200,000
11 予備費	130,474	0	△ 130,474
12 次年度繰越金	0	832,620	832,620
合 計	1,965,474	2,023,743	58,269

※会計監査実施の日程上、前年度の収支決算書を掲載

平成25年度バザー売上金

手づくり品販売収益金(同窓会総会にて) **164,256円**
 物品販売収益金(大妻会館ミニバザー) **25,790円**
 。ご協力ありがとうございました。 **合計 190,046円**

「寄付金」のご報告

「母校創立90周年記念事業」への取組として、平成21年度より皆さまにご協力いただいております寄付金ですが、お陰様で650万円を超え、手づくり作品収益金、周年事業積立金と合わせて目標の「1,000万円」を達成することができました。長期間に渡ってお寄せいただいた皆さまのご厚情に深く感謝し、心よりお礼申し上げます。

平成25年10月5日現在の寄付金累計 **6,584,880円**

「寄付金1,000万円」の内訳(平成25年10月5日現在)

特別会計積立金……………2,115,120円
 手づくり作品販売収益金……………1,300,000円
 寄付金……………6,584,880円
合計金額 10,000,000円

●編集後記

「母校創立九十周年を祝う会」が去る十月五日、花びしホテルに於いて開催され、大勢の方々にご出席をいただき無事に終えることができました。これもひとえにご支援下さいました多くの皆さまのおかげと心よりお礼申し上げます。また、お忙しい中、今号にご寄稿下さいました皆さま、本当にありがとうございました。(阿部 記)